

Y DESIGN STUDIO

ABOUT US

空間からディテールまで

暮らしのスタイル、働き方。ショッピング、食事、ふだん着の場から非日常のシーンまで。
それぞれにふさわしい空間を、インテリアデザイナーとグラフィックデザイナーの視点で考えます。

「もの」「こと」「場所」「時」を見据え、そのデザインの先にある「顔」「手にする人の心」「価値観」までも考慮し、
コンセプト立案から細部へのこだわりまで、クライアントの「世界にたったひとつの想い」をデザイン、具現化します。

空間に往来する「人」と、その接点になる「もの」を捉え、
手に触れ、目にとまり、印象となるもの、記憶に残るものをつくります。

インテリアデザイン・設計 - グラフィックデザイン

オリジナル家具・什器の制作、サインエージプラン、印刷物の企画・制作 など

Y DESIGN STUDIO

Y DESIGN STUDIO

東京都 渋谷区 上原
yasutake@ydesignstudio.tokyo
www.ydesignstudio.tokyo

PROFILE

安武 信頼 Nobuyori Yasutake
Interior Designer

1979 年生まれ。
インテリアデザインを学んだ後、2003 年にデザイン事務所「H.A.Deux Co.,Ltd.」入社。
その後、2008 年、デザイン事務所「C.eighty inc.」の設立に参加。(https://www.c80.jp)
10 年間に渡りチーフデザイナーとして多くのリテイルストア、レストラン、オフィス、ホテルの
空間デザイン、設計を手掛ける。
2019 年、Y DESIGN STUDIO 設立。
リテイルストア、レストラン、オフィス、個人住宅の空間デザインを中心に活動。

代表作
Appia 各店舗
la kagu (GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞)
malie ORGANICS 各店舗
STRAWBERRY-FIELDS 各店舗
ESTNATION 銀座店

安武 千尋 Chihiro Yasutake
Graphic Designer

1979 年生まれ。
テキストスタイルデザインを学んだ後、広告プロダクションでデザイン・ディレクションを手掛ける。
ブランディングデザイン事務所「デザインエイエム」にてデザイナーとしても活動。

WORKS

ICHIFUKU / ロゴ、名刺、インテリアデザイン
SHIRO ルミネ横浜店 / インテリアデザイン
SHIRO タカシマヤ ゲートタワーモール店 / インテリアデザイン
Appia alta 1F / インテリアデザイン
Appia alta B1F / インテリアデザイン
Appia 伊豆高原 / インテリアデザイン
NAKANO square (office) / サイネージ、インテリアデザイン
LibraStyle / 名刺、会社概要
MACBETH press room
Appia alta 2F / インテリアデザイン
chalo chalo! chaibreak 丸井吉祥寺店 / インテリアデザイン
THE NIDOM RESORT / Cottage & Flower Garden リニューアル計画
株式会社 TVC (office) / インテリアデザイン
LUMEN 阪急うめだ本店 / POP UP STORE インテリアデザイン



SHIRO 名古屋タカシマヤゲートタワーモール店

コスメティックストア。入り口中央にあるなめらかなフォルムの大理石と鏡面素材の陳列棚。土地柄を考慮し、SHIROらしいシンプルさの中にも、上品でエレガントなデザインを心掛け、SHIROの店舗の中でもとりわけ高級感漂う大人の雰囲気を目指した。





LUMEN 阪急うめだ本店 POPUP STORE

韓国発バックブランド「Atelier de Lumen」の日本国内初ポップアップストアの設計デザイン。
ブランドが持つ雰囲気と素材感を、ポップアップストアという短期間で限られたなかで最大限生かせるよう心掛けた。
透明感のあるファブリックから現れるシルエットと影。格子状に構成したウッドをパーティションとすることで空間を柔らかく拡張し、
ブランドアイデンティティーでもある「平凡な日常の中、毎日輝かせる穏やかな光」を表現した。





la kagu

神楽坂に建つ、新潮社の持つ築50年の倉庫を改装し複合商業施設へ。外観は隈研吾事務所が担当。
「倉庫のまま成り立つデザイン」をコンセプトに、新たに製作する造作物、什器も、本来そこにあつたかのように、ミニマム・シンプルなデザインを心掛けた。
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞





chalo chalo chaibreak 丸井吉祥寺店

吉祥寺、井の頭公園脇で長年続くチャイ専門店の新店舗の設計デザイン。本店とは異なる、カジュアル業態でのテイクアウト専門店ということで、店舗の雰囲気も明るく足を止めていただけるよう心がけた。

“chalo”とはヒンディー語で“Let's go!”の意味。同系のトーンの壁面の左官やカウンターのモルタルを使用し、本場インドの土っぽさ、路上感を表現した。



Appia 伊豆高原 ORTO e MARE

広尾、西麻布にある老舗イタリアンの新店舗。築50年の木造平家の改装計画。

東京の店舗で使用しているトラバーチン(大理石)の壁や床、イタリアンスタッコの左官壁に加え、料理のコンセプトである「ネオ・ジャポネーゼ」にならない、もともと存在する柱や梁をデザインに取り入れ、既存の建物の中に溶け込み和を感じる空間を目指した。





Appia alta Private lounge

広尾、西麻布にある老舗イタリアン、アッピア アルタ店の新たなプライベートラウンジの設計デザイン。

元々あるアッピアの雰囲気を残しつつ、マテリアルやカラーをアップデートした。

家族や、特別な友人で過ごす時間を和やかに感じて欲しいという思いから、柔らかな印象のカーテンやカーペットの素材、温かみのある照明の光。落ち着ける空間を目指した。

カウンター越しに視線でつながる専用の厨房は、シェフの調理を眺めることができ、会話のやりとりも楽しめる。





H.M.T. CAFE DINING

大阪 北浜にあるカフェダイニング。
 オフィスワーカーをターゲットとしアンティーク調の家具を中心に、
 開放された落ち着いた雰囲気を目指した。
 配置した椅子やテーブルなどは、オーナーさんの意向で、
 地元大阪のトラックファニチャーの家具をセレクトした。



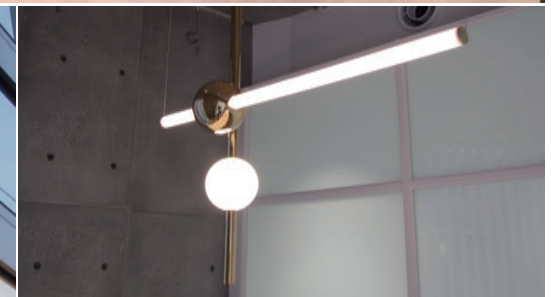


株式会社 TVC 代々木上原オフィス

映像制作、TV-CM等を扱う広告会社のフロア増床に伴うオフィス全面改装の設計デザイン。
エントランスから入った時のゆったりとしたフリースペース。
デザイン、形状は異なるが、雰囲気統一された家具。
来客された方に『ハッと』していただき、期待感や高揚感を持ってもらいたいと意識した。
インテリアに使った各素材のカラーは、コーポレートカラーのホワイトを基調として
“ブラック”と“グレー”で統一。床や壁面に使う木目も、ほんのりグレイッシュなものを選択し、
清潔感や明るい印象を意識している。
上の階の執務エリアは、部屋を区切る間仕切りはなく開放的な空間とした。
奥に続くリラックスエリアは、あえて天井を低くし、木目調の床、壁、天井とすることで、
執務エリアと区別し、落ち着きのあるスペースとしている。
シンプルなインテリアだが、各階に用途の違うフリースペースを設けることで、人の動きや、
その空間での会話生まれ、より一段とオフィス内の活気やチームワークが強くなればと願った。







株式会社 幸建地所
中野オフィス

施主が新築したビルの1フロア。
空間の中心に角度を付けたガラスウォールを設置し、
来客エリアと事務スペースを分けた。
間仕切り壁の中と外で照明の色温度を変える事により、
空間の中に巨大なライティングボックスを出現させた。



スタイルム 瀧定大阪株式会社
神宮前スワッチギャラリー

繊維商社が運営するアパレル向けの生地ショールーム。
訪れた人が、無数の生地サンプルを見つけやすく、
手に取りやすいように設置した高さ3メートルの陳列棚は、
郵便局の私書箱をイメージした。
さまざまな色柄の生地が並ぶことを考慮し、インテリア、
什器共に白一色とした。



28 clinic 熊谷

南青山と熊谷で展開する、カフェ、フィットネスジム、内科を併設する歯科医院。建築ゾーニングからプランをした。「シームレス」をコンセプトに、4つそれぞれのエリアを空間を、透明ガラスの間仕切りや照明の繋がり。清潔感のある素材を用いて「繋ぎ目のない連続性のある」デザインとした。



